

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・客の出足が良くなっており、既存店の来客数を3か月前の昨年比で見ると、99.9%から104.4%となっており、4.5ポイント好転している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・週末の予約数が少し増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・5月は、会社及び団体等の総会がある月であるが、雨が多く、1次会で帰る客が多い。しかし、中距離の利用が多く、単価が良くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・5月の連休のイベントは、かなりの人出があり、来客数が増加している。連休明けも、土日を中心に、近隣で行われている博覧会目当ての客が、県外から団体客として来ている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店への来客数、商店街の通行量ともに毎月減少している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・5月は1年間で忙しい「母の日」があり、以前は売上が伸びていたが、単価の減少と、スーパーなどの競合が増加したため、昔の売上を維持するのがやっとという状態である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・夏物の売行きが伸び悩み、単価が上昇していない。また、競合店の増加により、来客数が伸びていない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・松山では、出店の増加により、売上、来客数が減少している。客単価においては大きな変動はしていない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・先月の天候不順による落ち込みが、今月も続いている。展示会、受注会などのイベントの多い時期であるが、来客数が例年に比べて2けた上の割合で少ない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・サービス入庫は増加しているが、新車購入の来客数が減少しているため、売上は前年比98.2%であった。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・最近、県外からの宿泊客は伸びているが、レストラン、バンケットなどは利用客が非常に少ない状況である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年、ゴールデンウィークは暇であるが、ゴールデンウィーク以降も、夜に飲みに出る人も少なく、長距離が出ないため、単価が上昇しない。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・来島観光客は低調であり、5か月連続で前年比減少している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・客が少しずつ増加してきている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数は微増であるが、客単価が上がらないため、総合的に変化がない。
	その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・来客数は伸びているが、客の収入が上がっているという話は聞かない。	
	やや悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・例年、ゴールデンウィーク明けの販売実績は良くないが、3、4月がまずまずであったため、落ち込みが目立っている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・特に、今月は天候の不順もあり、春の商戦がほとんどなく、また夏物も少し早い状況であり、客が不要なものを買わない傾向のため、需要が大幅に減ったことがうかがえる。
百貨店（営業担当）		それ以外	・来客数及び売上高ともに前年を下回り、ファッション関連及び高額品が低調である。法人の需要は好調である。	
スーパー（店長）		販売量の動き	・石油の値上げの影響で、一部の商品単価も上昇しているため、販売量が落ちてきている。また、冷夏の影響で、衣料品なども販売量に影響が出ている。	
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・今月は、例年に比べ雨が多く、気温も上がらなかったため、半そでの動きが非常に悪くなっている。	
衣料品専門店（経営者）		販売量の動き	・前月と同様に、気温と天候に左右され、半そでを中心とした夏物衣料の動きが悪く、また、レディースのパンツの動きが悪かったため厳しい状況である。	

		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・前年同月に比べ、テレビ、冷蔵庫以外の商品で、販売量が10%から15%下げた商品が出てきている。商圏外ではあるが、競合店オープンの影響も否めない。来客数は少し上昇しているが、客の反応も鈍い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリンの値上げの影響により、商談中の客も買い控えをしている。従来のガソリン代に戻らなければ、国内自動車販売は、苦しい状況になる。
	悪くなっている	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月の拡販期を終えて、4月、5月の販売量は、前年と比べると、大幅に落ち込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリンの値上がりにより、軽四以外は買い控えている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部の小売店では、多少価格が高くても良いものが売れる傾向になっている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品のフェイスマスクの受注が上昇し、トイレットペーパーでは、一部メーカーの価格修正の発表以降、活発となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積の引き合いが多くなっている。価格は厳しいが、いろいろな形で引き合いがあるため、景気は上向いていると判断している。特に、電気機械、化学、食品において動きが見られる。
		通信業（営業担当）	それ以外	・量販店、大型スーパーなどの経営層との話の中で、背広、レジャー用衣料品やアクセサリなど男性用商品の売上が例年より伸びているとの声を聞くことが多くなった。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・就職状況の好転から、就職活動関係のフリーペーパーの動きが活発である。ロットも大きく、受注につながると、かなり売上に貢献する状態になっている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・東北、北海道地域は年度替わりの時期であり、クレーンの稼働は一段落している。一方、関東及び西日本地域の稼働率は好調を維持している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・部材高騰により製品価格が引き上げられたことによる反動で、今月は4月と比べやや低調である。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・各取引先とも、売上・利益とも上昇せず、特に建設土木業、宿泊業、木材関連業種が厳しい状況である。
		公認会計士	取引先の様子	・収入、利益ともに前年比での増加率が減少しており、今までの景気の強さが少し弱ってきているのではないかと危惧している。
	やや悪くなっている	輸送業（支店長）	取引先の様子	・大口取引先の建材部門からの受注量が、ここ数か月大幅に落ち込んでいる。それに伴い、当社も運賃収入が落ち込む結果となっている。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注の拡大を図るため、小額の案件でも積極的に見積に参加しているが、件数的にはやや増加しているものの、全体の金額では依然低迷しており、収益も厳しい状態である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・例年5月は、人や案件数の動きが減少する月であるが、若干、前年に対して案件数の動きが鈍化している。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・人材の引き合いは堅調であるが、ほとんどが欠員補充であり、増員している企業はない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・今年の新卒採用が売手市場であり困難にもかかわらず、新卒のみにこだわり、人材確保ができていない企業が多くなっている。中途採用については、就職サイトに対する理解が低い企業も多く、求人に対する投資が停滞気味である。
		求人情報誌製作会社（従業員）	周辺企業の様子	・安定的な求人数の伸び悩みが見られるが、業務請負などの求人のみが非常に伸びてきているため、求人広告数は伸び悩んでいる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・セールやフェアが激減したまま推移しており、広告関係では、前年あった広告でも予算減額をするなど、経費を抑えたまま推移している。

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・就職者数は増加したが、今まで直接雇用していた企業に、派遣や請負業者が進出してきている。
	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・採用者数は前年度とほぼ同数である。また、就職希望者数は前年に比べやや増加の傾向にあるが、受験企業の採用条件のハードルが高く、採用決定まで至っていない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-